

令和4（2022）年度

亜細亜大学大学院

アジア・国際経営戦略研究科

経済学研究科

法学研究科

〔博士後期課程〕

入学試験要項

個人情報の取り扱いについて

本学が受験生から取得した個人情報は、次のとおり取り扱います。

1. 出願及び入学手続のために取得した住所・氏名・その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続、統計・分析、入学後の教育研究支援及びこれらに付随する事項を行うために利用します。
2. 入学試験の受付及び実施に関わる業務の一部を外部に委託する（以下、「業務委託」）場合があります。
3. 業務委託にあたっては、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。
4. 取得した個人情報は、上記1～3の目的のみに利用し、本学並びに業務委託先がその業務を超えて利用することはありません。

亜細亜大学 入試部入試・広報センター大学院担当 URL <https://www.asia-u.ac.jp/academics/>
〒180-8629 東京都武蔵野市境5-8 TEL 0422-36-3273 e-mail gsnyushi@asia-u.ac.jp

<p>令和4（2022）年度 亜細亜大学大学院 博士後期課程 入学試験要項 【目次】</p>

入試日程・試験会場	3
 アジア・国際経営戦略研究科	
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
募集人員	4
出願資格	4
試験科目及び試験時間	4
選抜方法	4
出願書類	5
研究分野一覧	7
 経済学研究科	
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	8
募集人員	8
出願資格	8
試験科目及び試験時間	9
選抜方法	9
出願書類	9
特殊研究一覧	12
 法学研究科	
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	13
募集人員	13
出願資格	13
試験科目及び試験時間	14
選抜方法	14
出願書類	14
特殊研究一覧	17
 全研究科共通	
出願手続	
出願時の注意事項	17
出願書類送付方法	17
受験票	17
受験上の諸注意	
試験当日の注意事項	18
試験中の諸注意	18
合格発表	19
入学手続	19
学校納入金	19

入試日程・試験会場

アジア・国際経営戦略研究科 経済学研究科 法学研究科

●入試日程

出願期間 (締切日消印有効)	令和4(2022)年1月11日(火)～1月18日(火)
試験日	令和4(2022)年2月20日(日)
合格発表日	令和4(2022)年2月25日(金)
入学手続締切日 (締切日消印有効)	令和4(2022)年3月9日(水)

●試験会場

亜細亜大学 武蔵野キャンパス内 (最寄り駅: JR 中央線 武蔵境駅)

アジア・国際経営戦略研究科

●入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げる人材を求めます。なお、知識・技能・態度は、筆記試験、面接試験、書類審査を適切に組み合わせて評価します。

1. 本研究科での修学に必要な、日本とアジア・中国の間のビジネス社会に関する高度な知識体系の構築に関連する知識・技能を、修士学位等の課程で修得している。
2. アジア・中国ビジネスに関する問題を自ら認識し、自ら考察し、研究成果を発表できると共に、当該領域の知識体系の構築に寄与したいという強い意欲がある。
3. 博士後期課程の修学期間において、アジア・中国ビジネスの知識体系構築に関する自らの知識・技能の高度化を目指し、キャリアを切り拓く意欲と確固たる目的意識を持つ。
4. アジア・中国ビジネスの背景となる社会・文化に強い関心を持ち、それを担う人々の多様な価値観に対する深い洞察に基づいて、新たな知識に対する探究心を持つ。
5. 本研究科での研究により獲得する知識・技能・態度・体験を、アジア・中国ビジネスの理解や実践に活かす目標を有する。

●募集人員

アジア・国際経営戦略研究科 アジア・国際経営戦略専攻	5名
-------------------------------	----

●出願資格

以下のいずれかに該当する者又は令和4（2022）年3月末までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
以下①～③のいずれかに該当し、卒業又は修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ① 大学を卒業した者
 - ② 外国の学校教育で16年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育16年の課程を修了した者
- (7) 当該研究科委員会において、個別の出願資格審査により、(1)と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

※（7）に該当する者は、本学ホームページの『出願資格審査』（下記URL）を確認すること。

『出願資格審査』URL：<https://www.asia-u.ac.jp/academics/screening/>

●試験科目及び試験時間

試験時間	試験科目	詳細
9：30～11：00 (90分)	筆記 英語	※辞書の参照を認める。 ただし、専門用語辞典、注釈付き辞典及び電子辞書は除く。
13：00～	面接	提出された「研究計画書」等を中心に口頭試問

●選抜方法

提出されたすべての出願書類の内容及び筆記・面接試験の結果を総合して可否を判定します。

受入れ研究分野は、研究計画書及び面接の内容を考慮して合格時に通知します。

●出願書類

以下について注意して書類をそろえてください。

- (1) 書類は、黒インクペン又は黒ボールペンで記入すること（フリクションインキ等の消せるインクは不可）。
- (2) 証明書類は、原則令和3（2021）年4月1日以降の発行年月日が記載されたものとする。
- (3) 証明書類は、特別に指示されていない限り、コピーの提出は認めない。
- (4) 婚姻等で氏名が変更され、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
- (5) 出願後の提出書類の内容の変更は認めない。なお、連絡先（住所・電話番号・e-mail）に変更が生じた場合は、速やかにその旨を入試部入試・広報センターに連絡すること。
- (6) 受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。なお、出願資格が認められず受理されなかった場合は、出願書類及び入学検定料を返還する。

出 願 書 類 等		備 考	
①	入学志願票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望研究分野は、後掲の「研究分野一覧」を参照して選択すること。 ▶ 学歴について <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の小学校から大学まで通学した場合 高校入学以降に通学したすべての教育機関（編入学歴含む）を記入すること。最終学歴にあたる部分も記入すること。 ② ①以外の場合 <u>小学校入学以降に通学した教育機関（日本語学校等含む）を現在に至るまですべて記入すること。</u> 《注意》学歴欄は、最終学歴まで必ず記入すること。 ▶ 職歴は、常勤のみを古い順に現在に至るまですべて記入すること。ただし、学生時におけるアルバイトやインターンシップは記入しないこと。 ▶ 学歴・職歴に該当しない期間（進学準備・家事従事など）がある場合は、その他の欄に期間・内容（理由）を記載すること。 	○
②	写真票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願時点から3か月以内に撮影したもので、たて4cm×よこ3cmの上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景のない光沢カラー写真を所定の枠内に貼付すること。 ▶ 白黒写真、スナップ写真は不可。 受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの。 	○
③	修士の修了（見込）証明書 ※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書	<p>【日本の大学院出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 取得学位名が明記されていること。学位名が明記されていない場合は、学位記のコピーを添付すること。 ▶ 大学評価・学位授与機構で学位を授与された者は、学位授与証明書（学位申請受理証明書）を提出すること。 ▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。 <p>【中華人民共和国の大学院卒業生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「教育部学历证书电子注册备案表」を提出すること。中国高等教育学生信息网からダウンロードし印刷したものでもよい。中国語版、英語版いずれも可。 ▶ 卒業証書のコピーを併せて提出すること。 ▶ 修士の学位を取得している場合は、「硕士学位証書」コピーも提出すること。 ▶ 博士課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の「教育部学籍在线验证报告」又は「教育部学历证书电子注册备案表」も併せて提出すること。 	○

	修士の修了（見込）証明書 (続き)	【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】 ▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 ① 出身大学が発行した証明書原本 ② ①について、志願者本人が翻訳したもの ③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」 ※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。 ▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。	
④	大学の成績証明書及び大学院修士課程の成績証明書 ※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書	【日本の大学院出身者】 ▶ 複数の大学及び大学院を卒業・修了している場合は、すべての成績証明書を提出すること。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて必ず提出すること。 ▶ 出願資格(6)の者は、最終学歴の成績証明書を提出すること。 【中華人民共和国の大学院卒業者】 ▶ 「中国高等学校学生成绩验证报告」を提出すること。中国語版、英語版いずれも可。(コピー可) ▶ 編入学を経た者は、編入学前の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】 ▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 ① 出身大学が発行した証明書原本 ② ①について、志願者本人が翻訳したもの ③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」 ※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の成績証明書も併せて提出すること。	○
⑤	修士論文	▶ 修士課程修了に係る修士論文を作成していない場合、それらに相当する研究成果（各大学院提出の研究成果報告書等、在学中に公表した論文等、各大学院登録ワーキングペーパー等）を提出すること。 ▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものであっても、原文のまま修士論文を提出すること。 ▶ 複数の修士課程を修了している場合には、すべての修士論文等を提出すること。	○
⑥	修士論文要旨	▶ 修士論文の内容の概要を日本語又は英語でまとめたものを提出すること。 ▶ 修士課程修了に係る修士論文を作成していないでそれらに相当する研究成果を提出した場合は、その研究成果の要旨を提出すること。 ▶ 文字数の目安 ・ 修士論文が日本語又は英語で記載された場合は、2,400字程度。 ・ 修士論文が日本語又は英語以外で記載された場合は、10,000字程度。	○
⑦	修士論文以外の研究成果	▶ 修士論文のほかに発表された研究成果がある場合は、研究計画に最も関係する1点について併せて提出することができる。 ▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものは、その内容の要約を日本語訳したもの（10,000字程度）を添付すること。	△
⑧	研究計画書 (所定用紙)	▶ 研究テーマ欄には、必ず今後の研究テーマを記入すること。 ▶ 「研究目的」「研究内容」「分析方法」等について、1,200字以上で記述し、所定用紙内に収めること（参考文献も記入すること）。	○

⑨	パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者は、提出すること。 ▶ 顔写真を含む氏名、国籍などが記載されたページをコピー（A4 サイズの用紙）して提出すること。 	△
⑩	住民票の写し ※「写し」とは、コピーではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住者」除く）は、提出すること。 ▶ 市区町村役所に申請のうえ「住民票の写し」を取り寄せること。 ▶ 有効在留資格・有効在留期間及び満了日が記載されたものを提出すること。 ▶ マイナンバーが記載されていないものを提出すること。 マイナンバーが記載されたものは受理できません。 	△
⑪	就学経費支弁計画書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住者」及び「日本人の配偶者等」を除く）は提出すること。 ▶ 本学大学院に在学する間の学費及び生活費の支弁方法を記入すること。 	△
⑫	研究に従事していたことが確認できる証明書	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願資格(6)の者は、必ず提出すること。 ▶ 研究に従事していた機関が発行したもの。 ▶ 研究期間が明記されていること。 	△
⑬	入学検定料 35,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入学検定料の納入は、出願期間内に必ず行うこと。 ▶ 本学所定の「入学検定料 振込用紙」を使用し、金融機関窓口で振り込むこと。 入学検定料振込の後、金融機関窓口で受け取った「振込金領収書」のコピーを出願書類と共に郵送すること。 ▶ ATM 又はインターネットバンキングから振り込むことも可能。入学検定料振込の後、振込控えのコピー又はインターネット振込が確認できる画面のハードコピーを出願書類と共に提出すること。 	○

《注意》○ 必ず提出するもの

△ 該当者が提出するもの

その他、入試部入試・広報センターから提出を求められた書類は、速やかに提出すること。

「教育部学历证书电子注册备案表」及び「中国高等学校学生成绩验证报告」について

中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/>) 又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>) に問い合わせてください。

●研究分野一覧

研究分野	研究できる内容	演習担当教員
戦略・マーケティング	経営戦略、人的資源管理、技術経営、イノベーションマネジメント、ビジネス法務、法務戦略、国際関係	張 相秀 教授 林 聖子 教授 范 云涛 教授 遊川 和郎 教授
会計・ファイナンス	企業ファイナンス、国際金融	赤羽 裕 教授

※演習担当教員についての詳細は、本学ホームページの教員情報を参照してください。

経済学研究科

●入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学研究科は、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識・技能・態度を有する人材を育成するために、筆記試験、面接試問、書類審査などで評価することにより、学位論文の作成意欲を持つ、次に掲げる人材を求めます。

1. 本研究科において論文を執筆するために必要な専門知識と分析ツールを身につけている。
2. 研究者や高度職業専門人として経済・国際社会において活躍する意欲がある。

●募集人員

経済学研究科 経済学専攻	3名
--------------	----

●出願資格

以下のいずれかに該当する者又は令和4（2022）年3月末までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
以下①～③のいずれかに該当し、卒業又は修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ① 大学を卒業した者
 - ② 外国の学校教育で16年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育16年の課程を修了した者
- (7) 当該研究科委員会において、個別の出願資格審査により、(1)と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

※ (7) に該当する者は、本学ホームページの『出願資格審査』（下記 URL）を確認すること。

『出願資格審査』 URL : <https://www.asia-u.ac.jp/academics/screening/>

●試験科目及び試験時間

修士課程で取得した学位によって受験科目が異なります。

【修士(経済学)の学位取得(見込)者】

試験時間	試験科目		詳細
11:30～13:00 (90分)	筆記	英語	※辞書の参照を認める。 ただし、専門用語辞典、注釈付き辞典及び電子辞書は除く。
14:00～	面接		主に研究テーマについて試問 ※研究テーマによっては、語学や数学等の知識を問うことがある。

【修士(経済学)以外の学位取得(見込)者】

試験時間	試験科目		詳細
9:30～11:00 (90分)	筆記 (専門科目)	ミクロ経済学 マクロ経済学 財政学	1科目選択する。 ※出願時に選択した試験科目は、出願後変更することはできない。
11:30～13:00 (90分)	筆記	英語	※辞書の参照を認める。 ただし、専門用語辞典、注釈付き辞典及び電子辞書は除く。
14:00～	面接		主に研究テーマについて試問 ※研究テーマによっては、語学や数学等の知識を問うことがある。

●選抜方法

提出されたすべての出願書類の内容及び筆記・面接試験の結果を総合して合否を判定します。

●出願書類

以下について注意して書類をそろえてください。

- (1) 書類は、黒インクペン又は黒ボールペンで記入すること（フリクションインキ等の消せるインクは不可）。
- (2) 証明書類は、原則令和3（2021）年4月1日以降の発行年月日が記載されたものとする。
- (3) 証明書類は、特別に指示されていない限り、コピーの提出は認めない。
- (4) 婚姻等で氏名が変更され、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
- (5) 出願後の提出書類の内容の変更は認めない。なお、連絡先（住所・電話番号・e-mail）に変更が生じた場合は、速やかにその旨を入試部入試・広報センターに連絡すること。
- (6) 受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。なお、出願資格が認められず受理されなかった場合は、出願書類及び入学検定料を返還する。

出 願 書 類 等	備 考	
<p>① 入学志願票 (所定用紙)</p>	<p>▶ 希望特殊研究は、後掲の「特殊研究一覧」を参照すること。</p> <p>▶ 学歴について</p> <p>① 日本の小学校から大学まで通学した場合 高校以降に通学したすべての教育機関（編入学歴含む）を記入すること。最終学歴にあたる部分も記入すること。</p> <p>② ①以外の場合 <u>小学校入学以降に通学した教育機関（日本語学校等含む）を現在に至るまですべて記入すること。</u> 《注意》学歴欄は、最終学歴まで必ず記入すること。</p> <p>▶ 職歴は、常勤のみを古い順に現在に至るまですべて記入すること。ただし、学生時におけるアルバイトやインターンシップは記入しないこと。</p> <p>▶ 学歴・職歴に該当しない期間（進学準備・家事従事など）がある場合は、その他の欄に期間・内容（理由）を記載すること。</p>	○
<p>② 写真票 (所定用紙)</p>	<p>▶ 出願時点から3か月以内に撮影したもので、たて4cm×よこ3cmの上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景のない光沢カラー写真を所定の枠内に貼付すること。</p> <p>▶ 白黒写真、スナップ写真は不可。 受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの。</p>	○
<p>③ 修士の修了（見込）証明書</p> <p>※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書</p>	<p>【日本の大学院出身者】</p> <p>▶ 取得学位名が明記されていること。学位名が明記されていない場合は、学位記のコピーを添付すること。</p> <p>▶ 大学評価・学位授与機構で学位を授与された者は、学位授与証明書（学位申請受理証明書）を提出すること。</p> <p>▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。</p> <hr/> <p>【中華人民共和国の大学院卒業生】</p> <p>▶ 「教育部学历证书电子注册备案表」を提出すること。中国高等教育学生信息网からダウンロードし印刷したものでもよい。中国語版、英語版いずれも可。</p> <p>▶ 卒業証書のコピーを併せて提出すること。</p> <p>▶ 修士の学位を取得している場合は、「硕士学位証書」コピーも提出すること。</p> <p>▶ 博士課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の「教育部学籍在线验证报告」又は「教育部学历证书电子注册备案表」も併せて提出すること。</p> <hr/> <p>【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業生】</p> <p>▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。</p> <p>① 出身大学が発行した証明書原本</p> <p>② ①について、志願者本人が翻訳したもの</p> <p>③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」</p> <p>※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。</p> <p>▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。</p>	○

④	大学の成績証明書 及び大学院修士課 程の成績証明書 ※出身大学が発行した日本語 又は英語の証明書	【日本の大学院出身者】 ▶ 複数の大学及び大学院を卒業・修了している場合は、すべての成績証明書を提出すること。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて必ず提出すること。 ▶ 出願資格(6)の者は、最終学歴の成績証明書を提出すること。 ----- 【中華人民共和国の大学院卒業生】 ▶ 「中国高等学校学生成绩验证报告」を提出すること。中国語版、英語版いずれも可。(コピー可) ▶ 編入学を経た者は、編入学前の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 ----- 【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業生】 ▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 ① 出身大学が発行した証明書原本 ② ①について、志願者本人が翻訳したもの ③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」 ※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の成績証明書も併せて提出すること。	○
⑤	修士論文	▶ 専門職学位課程や海外の大学院修了など、修士課程修了に係る修士論文を作成していない場合は、それらに相当する研究成果(在学中に作成したペーパー等)を提出すること。 ▶ いずれの言語で執筆された論文であってもその原文のまま提出すること。 ▶ 複数の修士課程を修了している場合には、任意の修士論文等を1本以上提出すること。	○
⑥	修士論文等要旨 (4,000字以内)	▶ ⑤の概要を日本語又は英語でまとめたものを提出すること。 ▶ 複数の論文を提出する場合は、提出するすべての論文要旨を提出すること。 ※英語の場合は、日本語4,000字に見合ったワード数とする。	○
⑦	修士論文以外の研究成果	▶ 修士論文のほかに研究成果として発表したものがあれば併せて提出すること。 ▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものは、その内容の要約を日本語訳したもの(10,000字以内)を添付すること。	△
⑧	研究計画書 (所定用紙)	▶ 研究テーマ欄には、必ず今後の研究テーマを記入すること。 ▶ 「研究目的」「研究内容」「分析方法」等について、1,200字以上で記述し、所定用紙内に収めること(参考文献も記入すること)。	○
⑨	パスポートのコピー	▶ 日本以外の国籍を有する者は、提出すること。 ▶ 顔写真を含む氏名、国籍などが記載されたページをコピー(A4サイズの使用紙)して提出すること。	△
⑩	住民票の写し ※「写し」とは、コピーではありません。	▶ 日本以外の国籍を有する者(在留資格「永住者」除く)は、提出すること。 ▶ 市区町村役所に申請のうえ「住民票の写し」を取り寄せること。 ▶ 有効在留資格・有効在留期間及び満了日が記載されたものを提出すること。 ▶ マイナンバーが記載されていないものを提出すること。 マイナンバーが記載されたものは受理できません。	△

⑪	就学経費支弁計画書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者(在留資格「永住者」及び「日本人の配偶者等」を除く)は提出すること。 ▶ 本学大学院に在学する間の学費及び生活費の支弁方法を記入すること。 	△
⑫	研究に従事していたことが確認できる証明書	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願資格(6)の者は、必ず提出すること。 ▶ 研究に従事していた機関が発行したもの。 ▶ 研究期間が明記されていること。 	△
⑬	入学検定料 35,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入学検定料の納入は、出願期間内に必ず行うこと。 ▶ 本学所定の「入学検定料 振込用紙」を使用し、金融機関窓口で振り込むこと。 入学検定料振込の後、金融機関窓口で受け取った「振込金領収書」のコピーを出願書類と共に郵送すること。 ▶ ATM 又はインターネットバンキングから振り込むことも可能。入学検定料振込の後、振込控えのコピー又はインターネット振込が確認できる画面のハードコピーを出願書類と共に提出すること。 	○

《注意》○ 必ず提出するもの

△ 該当する者が提出するもの

その他、入試部入試・広報センターから提出を求められた書類は、速やかに提出すること。

「教育部学历证书电子注册备案表」及び「中国高等学校学生成绩验证报告」について

中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/>) 又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>) に問い合わせてください。

●特殊研究一覧

特殊研究	担当教員
マクロ経済特殊研究	申 寅容
ゲーム理論特殊研究	高橋 知也
産業組織特殊研究	加藤 一彦
西洋経済史特殊研究	須永 隆
東洋経済史特殊研究	水野明日香
財政特殊研究	臼井 邦彦
労働経済特殊研究	権丈 英子
発展途上国経済特殊研究	新井 敬夫

※担当教員についての詳細は、本学ホームページの教員情報を参照してください。

法 学 研 究 科

●入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、亜細亜大学の建学の精神と独創性を活かして全学的な研究教育環境のもと、広い学識と法学に関する高度な専門的知識をもって国際社会で活躍し、日本及びアジアと世界に貢献する人材を育成します。大学卒業後も更に法律と政治を学ぼうとする勉強意欲の高い学生及び社会人を、本学並びに他大学やアジア諸国から広く迎え入れます。この目的を達成するため、ある特定の分野で能力を高めたいと努力を惜しまない人、日本の法律や政治を学んで自国の法制度に活かしたいとする外国人留学生なども受け入れることとして、適切に築き上げられた入学者選抜制度を運用します。本研究科が求める人物像は、以下のとおりです。

1. 大学教員などの研究者を志望している。
2. 法学に関する極めて高度な専門知識を有する職業人として活躍することを志望している。

●募集人員

法学研究科 法律学専攻	5名
-------------	----

●出願資格

以下のいずれかに該当する者又は令和4（2022）年3月末までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
以下①～③のいずれかに該当し、卒業又は修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ① 大学を卒業した者
 - ② 外国の学校教育で16年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育16年の課程を修了した者
- (7) 当該研究科委員会において、個別の出願資格審査により、(1)と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

※ (7) に該当する者は、本学ホームページの『出願資格審査』（下記 URL）を確認すること。

『出願資格審査』 URL : <https://www.asia-u.ac.jp/academics/screening/>

●試験科目及び試験時間

試験時間	試験科目	詳細
10：00～10：45 (45分)	筆記 (外国語等) 英語 独語 仏語 日本語(専門基礎)	左記の試験科目から母国語以外の1科目選択。 ※英語・独語・仏語は和訳。日本語は専門基礎に関する論述形式。 ※辞書の参照を認める。 ただし、専門用語辞典、注釈付き辞典及び電子辞書は除く。 ※受験科目は出願時に選択した科目とし、出願後の変更は認めない。
13：00～	面接	主に研究テーマについて試問

●選抜方法

提出されたすべての出願書類の内容及び筆記・面接試験の結果を総合して合否を判定します。

●出願書類

以下について注意して書類をそろえてください。

- (1) 書類は、黒インクペン又は黒ボールペンで記入すること（フリクションインキ等の消せるインクは不可）。
- (2) 証明書類は、原則令和3（2021）年4月1日以降の発行年月日が記載されたものとする。
- (3) 証明書類は、特別に指示されていない限り、コピーの提出は認めない。
- (4) 婚姻等で氏名が変更され、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
- (5) 出願後の提出書類の内容の変更は認めない。なお、連絡先（住所・電話番号・e-mail）に変更が生じた場合は、速やかにその旨を入試部入試・広報センターに連絡すること。
- (6) 受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。なお、出願資格が認められず受理されなかった場合は、出願書類及び入学検定料を返還する。

出 願 書 類 等	備 考
① 入学志願票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望指導教授は、後掲の「特殊研究一覧」を参照して選択すること。 ▶ 受験科目欄に 受験する科目を記入すること。 ▶ 学歴について <ol style="list-style-type: none"> ① 小学校から大学まで通学した場合 高校入学以降に通学したすべての教育機関（編入学歴含む）を記入すること。最終学歴にあたる部分も記入すること。 ② ①以外の場合 <u>小学校入学以降に通学した教育機関（日本語学校等含む）を現在に至るまですべて記入すること。</u> <p>《注意》学歴欄は、最終学歴まで必ず記入すること。</p> ▶ 職歴は、常勤のみを古い順に現在に至るまですべて記入すること。ただし、学生時におけるアルバイトやインターンシップは記入しないこと。 ▶ 学歴・職歴に該当しない期間（進学準備・家事従事など）がある場合は、その他の欄に期間・内容（理由）を記載すること。

②	写真票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願時点から3か月以内に撮影したもので、たて4cm×よこ3cmの上半身(肩から上)・脱帽・正面・背景のない光沢カラー写真を所定の枠内に貼付すること。 ▶ 白黒写真、スナップ写真は不可。 受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの。 	○
③	修士の修了(見込)証明書 ※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書	<p>【日本の大学院出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 取得学位名が明記されていること。学位名が明記されていない場合は、学位記のコピーを添付すること。 ▶ 大学評価・学位授与機構で学位を授与された者は、学位授与証明書(学位申請受理証明書)を提出すること。 ▶ 博士後期課程に在学又は修了(見込)の者は、同課程の在学証明書又は修了(見込)証明書も併せて提出すること。 <hr/> <p>【中華人民共和国の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「教育部学历证书电子注册备案表」を提出すること。中国高等教育学生信息网からダウンロードし印刷したものでもよい。中国語版、英語版いずれも可。 ▶ 卒業証書のコピーを併せて提出すること。 ▶ 修士の学位を取得している場合は、「硕士学位証書」コピーも提出すること。 ▶ 博士課程に在学又は修了(見込)の者は、同課程の「教育部学籍在线验证报告」又は「教育部学历证书电子注册备案表」も併せて提出すること。 <hr/> <p>【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 出身大学が発行した証明書原本 ② ①について、志願者本人が翻訳したもの ③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」 ※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。 ▶ 博士後期課程に在学又は修了(見込)の者は、同課程の在学証明書又は修了(見込)証明書も併せて提出すること。 	○
④	大学の成績証明書及び大学院修士課程の成績証明書 ※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書	<p>【日本の大学院出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 複数の大学及び大学院を卒業・修了している場合は、すべての成績証明書を提出すること。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて必ず提出すること。 ▶ 出願資格(6)の者は、最終学歴の成績証明書を提出すること。 <hr/> <p>【中華人民共和国の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「中国高等学校学生成绩验证报告」を提出すること。中国語版、英語版いずれも可。(コピー可) ▶ 編入学を経た者は、編入学前の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。 <hr/> <p>【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 出身大学が発行した証明書原本 ② ①について、志願者本人が翻訳したもの ③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」 ※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。 ▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。 ▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の成績証明書も併せて提出すること。 	○

⑤	修士論文	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修士課程修了に係る修士論文を作成していない場合、それらに相当する研究成果を提出すること。 ▶ 専門職学位課程や海外の大学院修了の場合は、在学中に執筆した代表的な論文・ペーパー等を提出すること。 ▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものであっても、その言語のままの修士論文を提出すること。 ▶ 複数の修士課程を修了している場合には、すべての修士論文等を提出すること。 	○
⑥	修士論文要旨 (4,000字以内)	▶ 修士論文の内容の概要を日本語又は英語でまとめたものを提出すること。	△
⑦	研究計画書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 研究テーマ欄には、必ず今後の研究テーマを記入すること。 ▶ 「研究目的」「研究内容」「分析方法」等について、1,200字以上で記述し、所定用紙内に収めること（参考文献も記入すること）。 	○
⑧	パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者は、提出すること。 ▶ 顔写真を含む氏名、国籍が記載されたページをコピー（A4サイズ用の紙）して提出すること。 	△
⑨	住民票の写し ※「写し」とは、コピーではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住者」除く）は、提出すること。 ▶ 市区町村役所に申請のうえ「住民票の写し」を取り寄せること。 ▶ 有効在留資格・有効在留期間及び満了日が記載されたものを提出すること。 ▶ マイナンバーが記載されていないものを提出すること。 マイナンバーが記載されたものは受理できません。 	△
⑩	就学経費支弁計画書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住者」及び「日本人の配偶者等」を除く）は提出すること。 ▶ 本学大学院に在学する間の学費及び生活費の支弁方法を記入すること。 	△
⑪	研究に従事していたことが 確認できる証明書	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出願資格(6)の者は、必ず提出すること。 ▶ 研究に従事していた機関が発行したもの。 ▶ 研究期間が明記されていること。 	△
⑫	入学検定料 35,000円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入学検定料の納入は、出願期間内に必ず行うこと。 ▶ 本学所定の「入学検定料 振込用紙」を使用し、金融機関窓口で振り込むこと。 入学検定料振込の後、金融機関窓口で受け取った「振込金領収書」のコピーを出願書類と共に郵送すること。 ▶ ATM又はインターネットバンキングから振り込むことも可能。入学検定料振込の後、振込控えのコピー又はインターネット振込が確認できる画面のハードコピーを出願書類と共に提出すること。 	○

《注意》○ 必ず提出するもの

△ 該当する者が提出するもの

その他、入試部入試・広報センターから提出を求められた書類は、速やかに提出すること。

「教育部学历证书电子注册备案表」及び「中国高等学校学生成绩验证报告」について

中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/>) 又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>) に問い合わせてください。

●特殊研究一覧

特殊研究	指導教授	特殊研究	指導教授
憲法特殊研究Ⅱ	令和4年度募集停止 (令和3年7月30日更新)	民法特殊研究Ⅱ	鹿島 秀樹
行政法特殊研究	室井 敬司	民法特殊研究Ⅲ	木原 浩之
租税法特殊研究	肥後 治樹	商法特殊研究Ⅱ	渋谷 光義
行政学特殊研究	平井 文三	商法特殊研究Ⅲ	上田 廣美
刑事訴訟法特殊研究	檀上 弘文		

※指導教授についての詳細は、本学ホームページの教員情報を参照してください。

全 研 究 科 共 通

出 願 手 続

●出願時の注意事項

- (1) 身体の機能障害（拡大鏡、補聴器、車椅子の使用など）の理由により、入学試験当日に配慮を必要とする受験希望者は、出願開始日の1か月前までに入試部入試・広報センターに問い合わせてください。期間後の申し出については、配慮ができない場合があります。
- (2) 出願後、入試制度・受験科目・研究科を変更することはできません。
- (3) 提出された書類に虚偽及び偽造が認められた場合は、受験資格・合格・入学を取り消します。その場合は、入学検定料、学校納入金、出願書類及び入学手続書類等は返還しません。
- (4) 海外居住者が受験するためのビザ等の手続き補助は行いません。
- (5) 海外居住者が試験日に渡航ができず受験できなかったとしても入学検定料及び出願書類は返還しません。

●出願書類送付方法

- (1) 市販の角2サイズの封筒（A4サイズの用紙を折らずに封入できるサイズ）に、住所、氏名など記入した「封筒貼付用宛名シート」（所定用紙）を貼付した出願用封筒を作成し、出願書類一式を封入してください。
- (2) 出願書類は、郵便局窓口から「簡易書留速達便」（出願締切日消印有効）で郵送してください。
- (3) 出願書類等に不備があった場合は、出願を受け付けません。また、出願書類が送付されても入学検定料の納入がない場合又は入学検定料が納入されても、出願書類が出願期間内（郵送の場合は出願締切日消印有効）に提出されない場合は、出願を受け付けません。
- (4) 日本国外から出願書類を郵送する場合は、出願期間前までに入試部入試・広報センターに問い合わせてください。

●受験票

試験日3日前までに届かない場合は、入試部入試・広報センターに問い合わせてください。

受験上の諸注意

●試験当日の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。
- (2) 筆記用具は鉛筆・黒ボールペン・黒インクペンいずれの使用も認めます。必ず持参してください。筆記用具の貸し出しはしません。
- (3) 試験中使用できる時計は、計時機能だけのものに限ります。辞書や電卓等の機能があるもの、秒針音のするもの、大型のものは使用できません。また、ウェアラブル端末及びキッチンタイマーは使用できません。ウェアラブル端末は着用も認めません。
- (4) 試験は、辞書の持ち込みが可能です。「試験科目及び試験時間」で確認してください。
- (5) 試験会場は、受験票及び試験当日の構内掲示にて案内します。
- (6) 試験開始時刻の15分前までに試験会場に入室し着席してください。
- (7) 筆記試験開始後20分を経過してからの入室は認めません。面接試験においては、集合時刻から20分を経過した者の受験を認めません。
- (8) 出願時の写真票と同様の容姿（髪型・眼鏡など）で受験してください。
- (9) 試験当日は、学内厚生施設（食堂・コンビニエンスストアなど）は営業しておりません。昼食は必要に応じて各自持参してください。
- (10) 駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
- (11) 交通機関の乱れが生じている場合について
雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。各試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないとうかがった場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
詳細については、対応が決定次第、本学ホームページ「ニュース一覧」(<https://www.asia-u.ac.jp/news/>)に掲載しますので確認してください。また、インターネット出願時に登録されたe-mailに入試部入試・広報センター(gsnnyushi@asia-u.ac.jp)から連絡する場合があります。
なお、試験開始時刻の繰り下げに伴う受験生の個人的不利益について、本学では何ら責任を負いません。
- (12) 感染症等の対応について
学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・新型コロナウイルス感染症など）に罹患し治癒していない方は、他の受験者及び監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を遠慮願います。なお、当該理由により受験を遠慮された場合は、代替措置の申請を受け付けます。該当する場合は、必ず事前に入試部入試・広報センターに連絡してください。

●試験中の注意事項

- (1) 机の上に置けるものは、受験票、筆記用具、時計、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）及び試験形態で認められたものです。
- (2) 試験時間内に解答を終えた場合でも、試験終了時刻まで退室することはできません。
- (3) 生活騒音（航空機・自動車・空調等の音など）が発生した場合でも、原則として特別な措置はとりません。
- (4) 不正行為者は試験が無効となります。

合格発表

可否結果は以下の方法で発表します。電話等による問い合わせには応じません。

なお、提出書類に虚偽が認められた場合は、発表後であっても合格を取り消します。

- (1) 本学ホームページ「大学院ニュース」(https://www.asia-u.ac.jp/academics/graduate_news/)にて発表します。発表期間：合格発表日の11時から入学手続期間まで。
- (2) 合格者には、「合格通知書」及び「入学手続書類」を合格発表日に速達郵便にて発送します。

入学手続

- (1) 入学手続締切日までに入学金及び春学期授業料等学校納入金の納入、入学手続書類の提出を行ってください。
- (2) 学校納入金の分納及び延納には応じません。
- (3) 入学手続完了後、「入学許可書」を交付します。入学手続期間終了から10日以上経っても「入学許可書」が届かない場合は、入試部入試・広報センターにお問い合わせください。
- (4) 入学を辞退する場合は、以下のとおりの対応となりますので入試部入試・広報センターに連絡してください。入学辞退期間を過ぎた場合は対応することができません。

入学辞退期間：令和4(2022)年3月15日(火)～3月31日(木)

- ① 当該年度に卒業(修了)資格を得られなかった場合
入学辞退期間内(最終日消印有効)に、その事実を証明する書類と「入学辞退届」(所定用紙)を提出することにより、納入された学校納入金(手数料等除く)を返還します。
- ② その他の事情で辞退する場合
入学辞退期間内(最終日消印有効)に、「入学辞退届」(所定用紙)を提出することにより、納入された学校納入金(手数料等除く)のうち入学金以外を返還します。

学校納入金

令和3(2021)年度実績

●アジア・国際経営戦略研究科

(単位：円)

		1年次	2年次	3年次
入学金		230,000		
授業料	春学期	360,000	360,000	360,000
	秋学期	360,000	360,000	360,000
施設設備料	春学期	100,000	100,000	100,000
	秋学期	100,000	100,000	100,000
学生健康保険組合費		4,000	3,500	3,500
同窓会終身会費積立金		10,000	10,000	
合計	入学時納入金(春学期分含む)	704,000	473,500	463,500
	秋学期分	460,000	460,000	460,000
	年額	1,164,000	933,500	923,500

● 経済学研究科・法学研究科

(単位：円)

		1 年次	2 年次	3 年次
入学金		230,000		
授業料	春学期	310,000	310,000	310,000
	秋後期	310,000	310,000	310,000
施設設備料	春学期	100,000	100,000	100,000
	秋学期	100,000	100,000	100,000
学生健康保険組合費		4,000	3,500	3,500
同窓会終身会費積立金		10,000	10,000	
合計	入学時納入金 (春学期分含む)	654,000	423,500	413,500
	秋学期分	410,000	410,000	410,000
	年額	1,064,000	833,500	823,500